

INTERMOLD 2023 金型展2023

■主催／一般社団法人日本金型工業会

金属プレス加工技術展2023

■主催／一般社団法人日本金属プレス工業協会

2023年

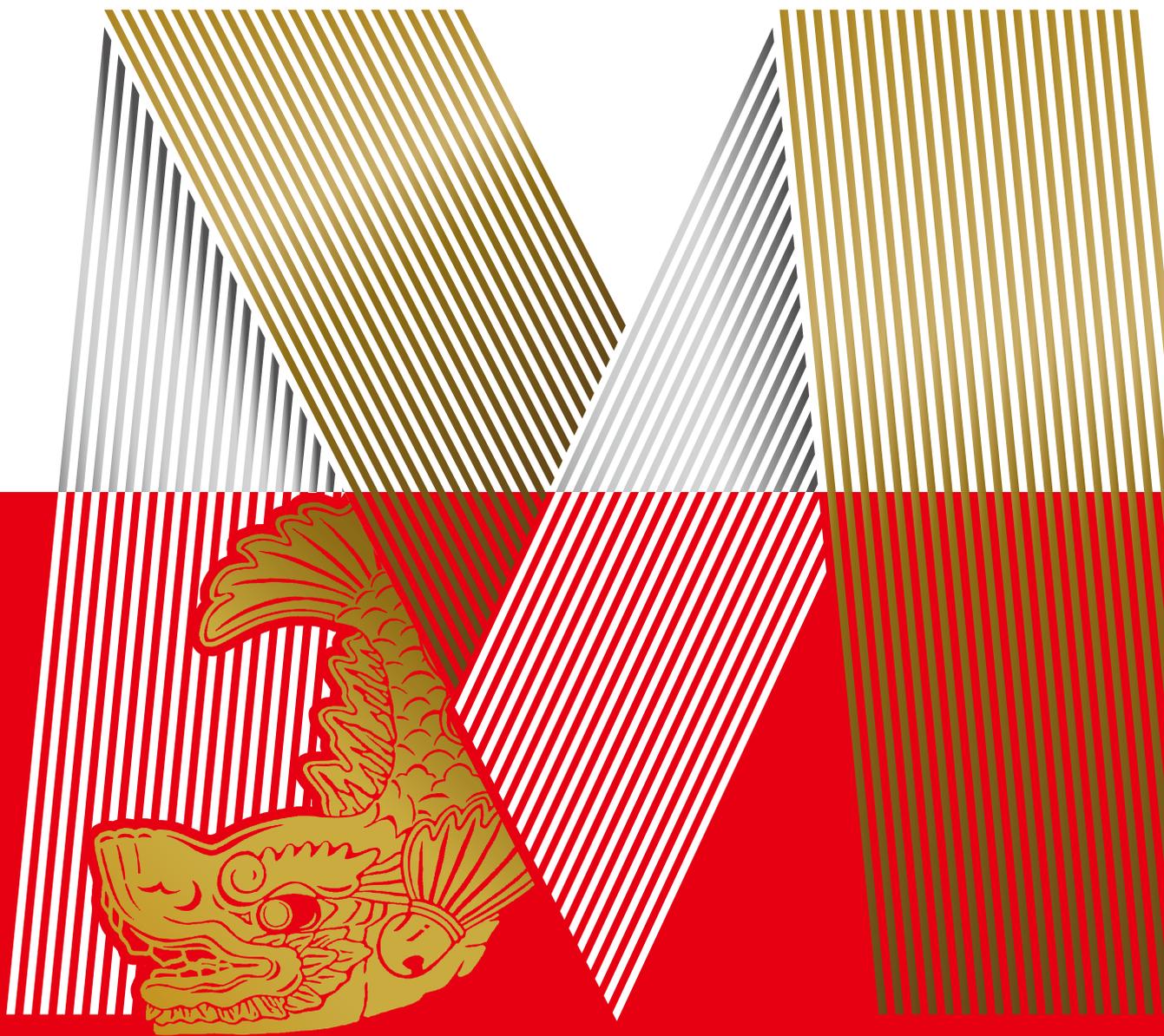
4月12日(水) > 15日(土)

10:00 > 17:00

※ただし最終日は16:00まで

東京ビッグサイト

〒135-0063 東京都江東区有明3-11-1



INTERMOLD 名古屋 金型展名古屋

■主催／一般社団法人日本金型工業会

金属プレス加工技術展 名古屋

■主催／一般社団法人日本金属プレス工業協会

2023年

6月21日(水) > 23日(金)

10:00 > 17:00

ポートメッセなごや

〒455-0848 名古屋市港区金城ふ頭2-2

出展案内

金型・金属プレス加工技術の専門展 素形材産業向け展示会

『ものづくりの原点』

金型・金属プレス加工技術の専門展素形材産業向け展示会
各種専門フェアを併催し、素形材産業と関連業界や異業種分野との
ビジネスマッチングを促進します。

INTERMOLD／金型展／金属プレス加工技術展は、最新の金型技術から金属プレス加工技術まで
『日本の基幹産業を支える素形材産業』の一貫したソリューションを提供します。

金型メーカー、金型ユーザーが多く出展・来場する専門展示会で貴社の最新技術をPRし、
ものづくり業界でのビジネスチャンスを拡大してください。

中小企業の課題解決とビジネス促進のための商談の場を生み出します。

自動化多品種
小ロット

グローバルマーケット
での競争力強化

次世代加工技術

高付加価値

カーボン
ニュートラル

SDGs

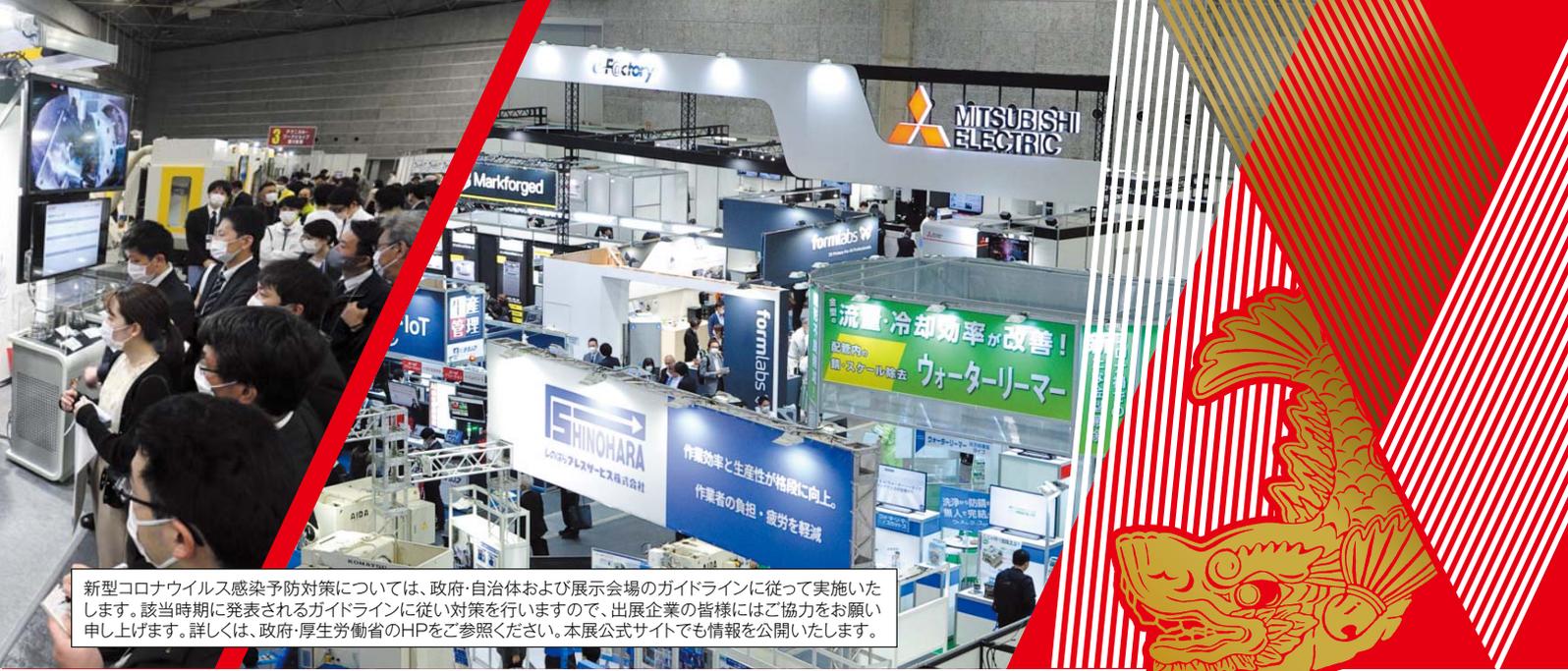
主な出展物

INTERMOLD / 金型展

- 金型製造技術（工作機械、放電加工、切削・研削、仕上げ加工、周辺装置）
- ロボット、自動化装置、省力化装置
- 機械工具、研磨、砥石
- IoTソリューション、AI
- CAD/CAM/CAE
- 試作・モデリング
- 金型材料、鋼材、金型部品
- 精密仕上げ、バリ取り、研磨加工
- 熱処理、表面処理、表面改質
- 生産管理システム
- 3Dプリンター、アディティブマニュファクチャリング（金属積層造形、樹脂積層造形 他）
- 各種成形加工（金属プレス加工、プラスチック成形、ゴム成形、ガラス成形、鍛造、鋳造、ダイキャスト）
- 切削工具
- ツーリング・工具保持具、治具
- 金型設計
- 測定器、計測器
- 金型、成形サンプル
- 成形材料
- 洗浄、補修、メンテナンス
- 油剤、ケミカル製品
- 各種部品加工技術など

金属プレス加工技術展

- プレス加工機
（サーボプレス、機械プレス、油圧プレス、トランスファープレス、
ファインブランキング、深絞りプレス、粉末成形プレス、
冷・温・熱間鍛造プレスなど）
- 周辺機器
（トランスファーシステム、アンコイラー、レベラー、フィーダー、
安全装置、その他関連機器）
- ロボット・自動化システム
- プレス金型・プレス金型部品
- 各種金属プレス加工品・成形サンプル
- プレス加工事業者による技術PR



新型コロナウイルス感染予防対策については、政府・自治体および展示会場のガイドラインに従って実施いたします。該当時期に発表されるガイドラインに従い対策を行いますので、出展企業の皆様にはご協力をお願い申し上げます。詳しくは、政府・厚生労働省のHPをご参照ください。本展公式サイトでも情報を公開いたします。

東京展 TOKYO

金型技術、金属プレス技術、ものづくり全般に「今」求められている課題解決にこたえる技術の集大成。
グローバル社会に誇れる技術を継承する、最新の技術を世界に発信する、国内唯一の金型専門展示会。



名古屋展 NAGOYA

国内唯一の金型専門展示会をものづくりの中心地『自動車産業の集積地』で開催！
中部ものづくり業界関係者が集うビジネスショーとして発展し、素材形産業のビジネス交流を応援します。

主な来場者

INTERMOLD / 金型展

- 金型メーカー、成形加工メーカー、金型・成形兼業、部品加工メーカー、商社
- プレス金型、鍛造金型、鋳造金型、ダイカスト金型、ガラス金型、プラスチック金型、ゴム金型、ブロー金型、粉末冶金金型ほか
- 経営・経営企画、購買、営業・販売、研究・開発、設計、製造、生産技術、生産管理、品質管理、情報システム、マーケティング、総務・経理
- 自動車・自動車部品関連、半導体・電子機器関連、家電・通信機器関連、食品・医療・バイオ関連、商社関連、航空・宇宙関連、文具、玩具、建設・建材、研究・教育、公社・官庁

金属プレス加工技術展

- 自動車・自動車部品関連、半導体・電子機器関連、家電・通信機器関連、食品・医療・バイオ関連、商社関連、航空・宇宙関連、文具、玩具、建設・建材、研究・教育、公社・官庁
- 金型メーカー、成形加工メーカー、金型・成形兼業、部品加工メーカー、商社
- プレス金型・鍛造金型・鋳造金型・ダイカスト金型・ガラス金型・プラスチック金型・ゴム金型・ブロー金型・粉末冶金金型ほか
- 経営・経営企画、購買、営業・販売、研究・開発、設計、製造、生産技術、生産管理、品質管理、情報システム、マーケティング、総務・経理

プレゼンテーションセミナー開講のご案内(有料)

「新製品発表」「ユーザーケース発表」「課題解決提案」「業界最新情報提供」など、出展小間での展示以外に来場者へ情報提供できるチャンスとしてセミナースペースを提供します。有料セミナーやユーザー会などクローズドなセミナー開講をご希望の場合は「テクニカル・ワークショップ」、展示会場内を通行の来場者へも訴求されたい場合は「オープンセミナー」など出展者の目的に応じてプレゼンテーションスペースをご選択いただけます。開講プログラムは、会期前に展示会開催案内チラシや公式サイトで発表し、来場動員のメール配信でも掲載しますので、貴社出展の露出も増えます。開講を予定もしくは検討される出展者は、出展申込の際にセミナー開講希望欄にチェックをお願いします。後日改めて開講申込を行っていただきます。

※各プレゼンテーションセミナーの受講定員については、開講時に該当する感染症予防ガイドラインに応じて設定します。

テクニカル・ワークショップ



事前登録制、クローズド、オープン形式など、出展者が目的に応じて運営できるプレゼンテーションセミナーです。

製品・技術のPRセミナーとしてだけでなく、「ユーザー会」「新製品発表会」のほか、有料セミナー会場として利用することができます。

※セミナー会場入口での受付は出展者ご自身で行っていただきます。
※プログラムは、事務局にて調整します。

会場 東京ビッグサイト または ポートメッセなごや
会議室 または 会場内特設会場

定員 40~100名程度 ※スクール形式

開講料 60分 / 93,500円(税込)
90分 / 126,500円(税込)

オープンセミナー



展示ホール内に、オープン形式のセミナー会場を設けます。来場者は展示ブースを移動する間に、興味のあるセミナーを自由に聴講できます。

新規顧客に対して、新製品・新技術のPRが可能となり、自社ブースへ誘導するチャンスにもなりますので、展示との相乗効果に期待できます。

※複数のセッションを開講することも可能です。(複数開講値引き有り)
※プログラムは、事務局にて調整します。

会場 東京ビッグサイト または ポートメッセなごや
展示場内特設会場

定員 約15~30名 (座席設置数。但し、立ち見も可能です)

開講料 45分 / 55,000円(税込) ※時間延長は出来ません。

2021東京展 セミナー紹介 (2021年東京開催 ※社名・所属・役職などは開催当時)

テクニカル・ワークショップ 前回開講実績

- 「中小企業のためのはじめての海外展開 - 輸出」
講師：独立行政法人中小企業基盤整備機構 販路支援部
中小企業アドバイザー 中小企業診断士 富井 秀 氏
- 「Moldex3D の最新技術紹介と今後の開発動向」
講師：株式会社JSOL エンジニアリング事業本部 アソシエイトマネージャー
高橋 大輔 氏
- 「ブルカー・アリコナ社製三次元測定機を活用した
金型測定事例」
講師：株式会社ユーロテクノ 営業チーム 泉 幸治 氏
- 「こういうご時世だからこそ樹脂流動解析の活用を!
完全 3D 樹脂流動解析 Moldex3D の最新機能紹介」
講師：株式会社セイロジャパン Moldex ソリューションセンター 係長 今嶋 晋一 氏
- 「最新小径エンドミルによる
高硬度鋼加工の長寿命化・高能率化」
講師：日進工具株式会社 営業部 営業技術課 主任補 福嶋 裕也 氏
- 「超短パルスレーザーによるマイクロテクスチャ加工と
高速化への取り組み」
講師：株式会社リプス・ワークス 受託加工グループ 営業責任者 照井 正人 氏

特別講演 前回開講実績

- 自動車部品製造技術フェア 特別講演
「エレクトロニクス化が及ぼす自動車産業の技術や生産への影響」
講師：一般社団法人日本自動車部品工業会 技術担当顧問 松島 正秀 氏
- 一般社団法人日本金型工業会 特別セミナー
「令和時代の金型産業ビジョン」
講師：一般社団法人日本金型工業会 学術顧問 横田 悦二郎 氏

オンラインセミナー 前回開講実績

第13回 学生金型グランプリプレゼンテーション

- ・主催 一般社団法人日本金型工業会
- ・審査協力 株式会社ミツトヨ
- ・表彰協力 一般財団法人産業デザイン
- ・課題作成協力 大垣精工株式会社、有限会社大主金型
- ・参加校 岩手大学 (プラスチック型/プレス型)
大分県立工科短期大学 (プラスチック型/プレス型)
大阪電気通信大学 (プラスチック型)
大阪工業大学 (プレス型)
岐阜大学 (プレス型)
山形県立産業技術短期大学 (プラスチック型)



2022大阪展 セミナー紹介 (2022年大阪開催 ※社名・所属・役職などは開催当時)

テクニカル・ワークショップ 前回開講実績

- 「最新小径エンドミルによる高硬度鋼の高効率・高精度加工」
講師：日進工具株式会社 営業部営業支援グループ 営業技術課 主任 福岡 裕也 氏
- 「放電加工機最新技術のご紹介」
講師：三菱電機株式会社 産業メカトロニクス製作所 放電製造部
- 「高硬度鋼材料への深リブ・直彫り加工」
講師：碌々産業株式会社 営業部 主任 杉山 洋一 氏
オーエスジー株式会社 開発グループ エンドミル開発チーム 中野 裕矢 氏
- 「リバーエンジニアリングを用いた樹脂金型設計・製造プロセスの効率化」と「切削加工における測定データを活用した寸法安定化ソリューション」
講師：Hexagon 戦略企画推進本部 ビジネスディベロップメント シニアアプリケーションエンジニア 近藤 裕一 氏
- 「動的振れ精度『ZERO』の世界へ～最新機内動的工具位置・振れ測定のご紹介～」
講師：大昭和精機株式会社 先端技術開発部部长 矢内 正隆 氏
- 「自動計測・補正加工機能搭載デジタルプロファイル研削盤 DPG150 のご紹介」
講師：株式会社アマダマシナリー 研削技術部 研削実証加工グループ グループリーダー 三谷 知範 氏

他2セッション

オープンセミナー 前回開講実績

- 「プレス機械に潜む危険性とその対策方法」
講師：しのはらプレスサービス株式会社 営業本部 常務取締役 篠原 清人 氏
- 「金型の開発・製作期間とコストを削減。3D プリントによるラピッドツーリング活用術」
講師：Formlabs株式会社 マーケティングマネージャー 須藤 圭佑 氏
- 「磨きを変える、清掃を極めるイエプロ処理」
講師：プラストロン株式会社 営業技術グループ 服部 智行 氏、大和田 貴弘 氏
- 「切削加工シミュレーションで実現する金型加工における加工の最適化」
講師：伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 CAE ソリューション営業部 本多 貴之 氏
- 「ブルカー・アリコナ社製非接触三次元測定機を活用した金型測定事例」
講師：株式会社ユーロテクノ 営業部 主任 藤田 篤 氏
- 「DX を実現する CAD/CAM ソフトウェアとデジタルツイン技術」
講師：Hexagon プロダクションソフトウェアソリューション部 シニアアプリケーションエンジニア 小島 久志 氏
- 「ELID 研削システム」
講師：柳下技研株式会社 YG テクニカルセンター ELID 研削技師 一瀬 哲也 氏

他6セッション

2022名古屋展 セミナー紹介 (2022年名古屋開催 ※社名・所属・役職などは開催当時)

テクニカル・ワークショップ 前回開講実績

- 「製造業DX: デジタルスレッド構築を推進する「メタデータ」連動テクノロジー」
講師：株式会社データ・デザイン セールスユニット 企画グループ マネージャー 今田 智秀 氏
- 「5軸加工用工具『縦横無尽シリーズ』のご提案」
講師：ダイジェット工業株式会社 切削技術部 技術室 課長代理 西浦 健太 氏
- 「～進化は続くよどこまでも～完全3次元樹脂流動解析 Moldex3D の最新情報」
講師：株式会社セイロジャパン Moldex ソリューションセンター 係長 今嶋 晋一 氏
- 「ハイサイクル成形用金型材 Moldmax HH の紹介」
白銅株式会社
講師：マテリオン ジャパン株式会社 課長 福田 貴 氏
- 「生産工程の自動化のための機内測定器導入の手引き」
講師：ブルーム・ノボテスト株式会社 営業技術部 マネージャ 加藤 力也 氏
- 「OK ボタンを5回クリックするだけで、新人でも最適化された軌跡作成が可能。NCBrain AICAMによる自動化をご紹介します。」
講師：株式会社セイロジャパン Cimatron ソリューションセンター 部長 池澤 俊文 氏

他3セッション

オープンセミナー 前回開講実績

- 「ファナックの金型加工/成形技術と自動化・IoT化のご紹介」
講師：ファナック株式会社 ロボマシ事業本部 ロボマシセールス推進部 部長 寺嶋 洋也 氏
- 「切削CAEを駆使しデジタルツイン時代に自社の強みを」
講師：伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 科学システム本部 科学ビジネス企画推進部 プロダクトサービス第1課 江渡 寿郎 氏
- 「金型加工分野でも活躍!無線データロガー「AirLogger™」」
講師：株式会社アドバンテスト 新企画商品開発室 Functional Manager 藤崎 貴志 氏
- 「肉盛りのオフラインティーチングソフト 新製品ご紹介「特盛りくん」」
講師：南海鋼材株式会社 MOLDe 製品開発室 室長 福原 千里 氏
- 「プレス機械の賢い買い方・売り方」
講師：ベストプレスマン 高橋 実 氏
- 「TopSolid' Progress によるプレス金型設計・製作の効率化事例」
講師：コダマコーポレーション株式会社 鈴木 貴之 氏
- 「3Dプリンタと既存工法の組み合わせによる社会課題解決アプローチとは」
講師：株式会社ExtraBold 代表取締役 原 雄司 氏

他22セッション



2021東京展 前回開催実績(2021年4月)

開催データ

開催概要

名称	INTERMOLD 2021 (第32回 金型加工技術展) / 金型展2021		金属プレス加工技術展2021			
会期	2021年4月14日(水)~17日(土) 10:00~17:00(最終日は~16:00)					
会場	東京ビッグサイト・青海展示棟(〒135-0064 東京都江東区青海1-2-33)					
出展規模	253社・団体 552小間					
出展状況	金型・金型材・金型部品等 精密測定機器・光学測定機器 切削工具 精密部品加工技術 各種油剤・ケミカル製品など 図書・文献・資料	265社 57社 41社 165社 24社 4社	プラスチック加工機械・関連機器 工作機械用付属機器など 試作・モデリング・3Dプリンター関連 金属加工関連機器 ロボット・自動化 プレス加工機用周辺機器	15社 23社 26社 48社 22社 16社	工作機械 CAD/CAM/CAE システムなど 機械工具・研磨・砥石関連 各種団体・研究機関など プレス加工機	56社 31社 26社 10社 52社

来場者数 11,083人

日付	天候	インターモールド	金型展	金属プレス加工技術展
4月14日(水)	雨	1,552人	502人	422人
4月15日(木)	晴れ	2,101人	532人	621人
4月16日(金)	曇り	2,500人	751人	805人
4月17日(土)	曇りのち雨	837人	218人	242人
合計		6,990人	2,003人	2,090人

分野属性①

※下記数字は回答数を表示
※複数回答有り

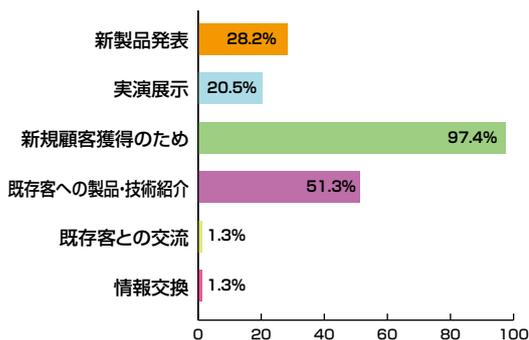
分野	インターモールド	金型展	金属プレス加工技術展
プレス金型	41.08%	41.54%	66.67%
鍛造金型	18.38%	16.17%	21.12%
鋳造金型	16.36%	12.17%	13.03%
ダイカスト金型	19.57%	13.06%	12.07%
ガラス金型	6.30%	4.60%	3.70%
プラスチック金型	37.21%	38.72%	21.81%
ゴム金型	10.59%	9.64%	7.82%
粉末冶金金型	7.70%	5.19%	7.13%
その他	26.91%	19.29%	19.34%

分野属性②

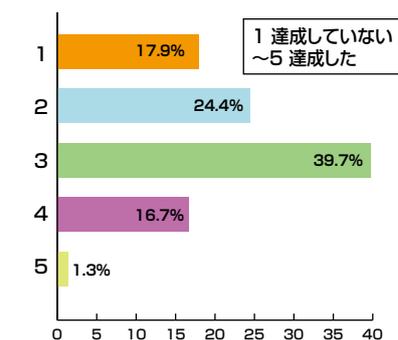
※下記数字は回答数を表示
※複数回答有り

分野	インターモールド	金型展	金属プレス加工技術展
自動車・自動車部品関連	43.84%	4.60%	45.82%
半導体・電子機器関連	28.02%	23.59%	25.38%
家電・通信機器関連	17.22%	19.14%	19.07%
食品・医療・バイオ関連	13.56%	14.09%	11.11%
商社関連	22.17%	13.95%	17.28%
航空・宇宙関連	11.17%	6.08%	7.54%
文具	4.20%	3.71%	2.74%
玩具	3.50%	2.97%	1.92%
建設・建材	6.06%	8.90%	16.46%
研究・教育	5.81%	4.60%	3.84%
公社・官公庁	2.47%	3.86%	1.92%
その他	15.90%	13.95%	12.35%

出展の目的

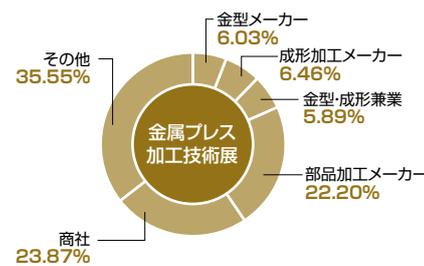
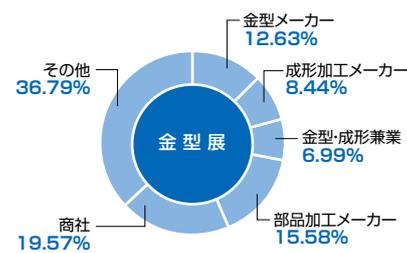
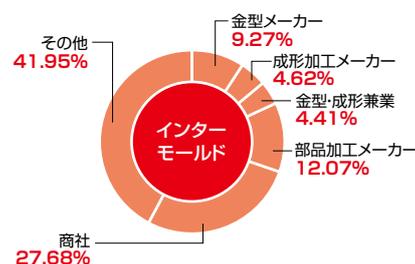


左記目的の達成について



来場者業種分類

※各項目の「比率」は
小数点第二位までを表示



来場者の地域分類

地域	インターモールド	金型展	金属プレス加工技術展
北海道地区	0.04%	0.00%	0.00%
東北地区	0.91%	0.45%	0.82%
関東地区	84.47%	86.35%	86.97%
中部地区	6.26%	5.64%	4.12%
北陸地区	0.99%	0.59%	1.51%
近畿地区	5.60%	4.90%	3.84%
中国・四国地区	0.33%	1.19%	0.69%
九州・沖縄地区	1.11%	0.74%	1.23%
海外	0.08%	0.15%	0.55%
不明	0.21%	0.00%	0.27%

※各項目の「比率」は小数点第二位までを表示

2022名古屋展 前回開催実績 (2022年7月)

開催データ

開催概要

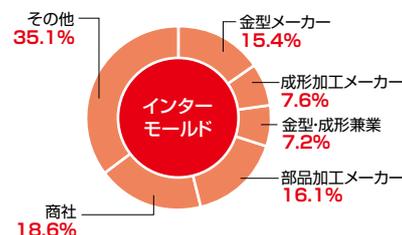
名称	INTERMOLD 名古屋 / 金型展名古屋		金属プレス加工技術展名古屋			
会期	2022年7月6日(水)～9日(土) 10:00～17:00(最終日は～16:00)					
会場	ポートメッセなごや(〒455-0848 名古屋市港区金城ふ頭2-2)					
出展規模	293社・団体 498小間					
出展状況	金型・金型材・金型部品等	171社	プラスチック加工機械・関連機器	17社	工作機械	38社
	精密測定機器・光学測定機器	25社	工作機械用付属機器など	25社	CAD/CAM/CAE システムなど	37社
	切削工具	21社	試作・モデリング・3Dプリンター関連	27社	機械工具・研磨・砥石関連	20社
	精密部品加工技術	117社	金属加工関連機器	43社	各種団体・研究機関など	11社
	各種油剤・ケミカル製品など	12社	ロボット・自動化	32社	プレス加工機	27社
	図書・文献・資料	7社	プレス加工機周辺機器	15社		

来場者数 20,982人

日付	天候	インターモールド	金型展	金属プレス加工技術展
7月6日(水)	晴れ	2,478人	835人	712人
7月7日(木)	晴れ	3,984人	1,102人	1,003人
7月8日(金)	晴れ	4,992人	1,548人	1,436人
7月9日(土)	曇りのち雨	1,907人	483人	502人
合計		13,361人	3,968人	3,653人

来場者業種分類

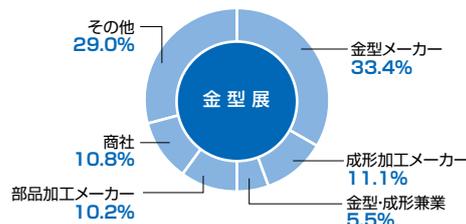
※各項目の「比率」は
小数点第一位までを表示



分野属性①

※下記数字は回答数を表示
※複数回答有り

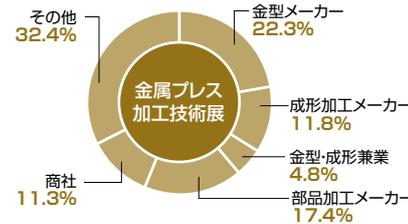
分野	インターモールド	金型展	金属プレス加工技術展
プレス金型	40.7%	46.4%	75.0%
鍛造金型	17.4%	18.9%	21.6%
鋳造金型	13.0%	12.9%	7.7%
ダイカスト金型	18.8%	15.9%	7.6%
ガラス金型	2.6%	1.4%	1.1%
プラスチック金型	36.2%	34.3%	14.8%
ゴム金型	7.7%	7.7%	3.4%
ブロー金型	4.4%	3.8%	1.1%
粉末冶金金型	4.4%	4.0%	3.6%
その他	34.4%	18.3%	24.2%



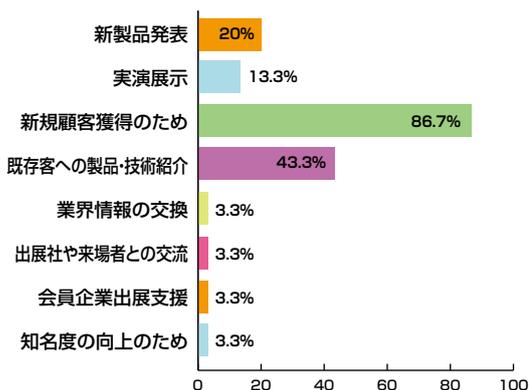
分野属性②

※下記数字は回答数を表示
※複数回答有り

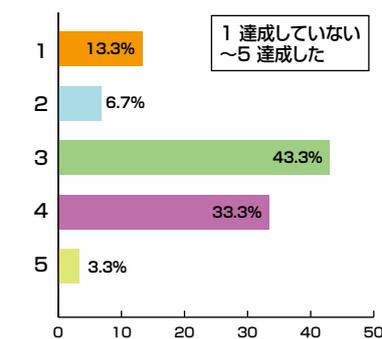
分野	インターモールド	金型展	金属プレス加工技術展
自動車・自動車部品関連	65.5%	72.8%	73.2%
半導体・電子機器関連	15.4%	12.7%	15.2%
家電・通信機器関連	13.8%	15.7%	14.5%
食品・医療・バイオ関連	8.5%	7.2%	3.6%
商社関連	11.2%	6.6%	8.3%
航空・宇宙関連	7.0%	4.5%	3.6%
文具	2.2%	1.1%	0.5%
玩具	2.1%	0.3%	0.2%
建設・建材	5.9%	5.1%	9.7%
研究・教育	3.2%	1.4%	1.3%
公社・官公庁	1.8%	0.8%	1.4%
その他	18.5%	15.0%	12.6%



出展の目的



左記目的の達成について



来場者の地域分類

地域	インターモールド	金型展	金属プレス加工技術展
北海道地区	0.1%	0.2%	0.0%
東北地区	0.6%	0.5%	0.5%
関東地区	9.0%	6.1%	7.6%
中部地区	75.5%	78.8%	77.2%
北陸地区	1.6%	2.1%	1.0%
近畿地区	10.6%	9.9%	11.4%
中国・四国地区	1.5%	2.1%	1.4%
九州・沖縄地区	0.8%	0.2%	0.9%
海外	0.3%	0.1%	0.0%
不明	0.0%	0.0%	0.0%

※各項目の「比率」は小数点第一位までを表示

展示会内特別企画フェア

関係団体にご協力をいただき、各種専門フェアを併催。
関連業界や異業種分野とのビジネスマッチングを促進します。
フェアへのご参加を希望の際は、出展お申込の際に該当フェアをご選択ください。

次世代プラスチック加工フェア

金型業界においても、主要原料かつ主な加工製品の1つであるプラスチック。環境負荷が小さい素材への変更や加工技術の対応など、様々な課題を抱えています。生分解性プラスチックやバイオプラスチックなど、次世代素材やその加工技術、各企業・団体の取り組みなどを紹介し、最先端情報を広く発信します。

出展対象

- バイオマス・生分解性プラスチック
- 生分解性プラスチック加工
- 再生プラスチック加工
- 各種成形機
- 省エネ
- 再利用
- リサイクル など

フェア協力団体：小松技術士事務所

日本は環境問題に対し、2050年までにカーボンニュートラル(脱炭素)社会を実現し、G20大阪サミットで採択された2050年までに新たな海洋プラスチックごみゼロを目指す大阪ブルー・オーシャン・ビジョンを目標に掲げています。実現にはバイオマスを原料として化学合成されたバイオプラスチックや生分解性プラスチックの活用が求められます。一方、世界各国は、日本の優れた機械技術や金型技術、省エネルギー技術に期待を寄せています。次世代プラスチック製品のイノベーションには欠かせないものづくりが求められています。



3Dプリンティング&AM技術フェア



航空機部品、医療部品、自動車部品製造の世界では、軽量・多品種小ロット・複雑造形など、部品や製品に対する要求は複雑化しています。積層技術(アディティブマニュファクチャリング)は、これらの要求に応える次世代加工技術として注目され、特に世界市場はかなりのスピードで拡大しています。造形材料の進化、デザインの具現化により設計・試作段階での解析・検証が可能となり、部品製造・量産への工程短縮が見込まれます。今までの技術と組み合わせたAM技術の活用により、付加価値の高い部品製造が可能となる、金属・樹脂3DプリンティングやAM技術に取り込む企業と同技術の進化について発信します。

出展対象

- 積層造形技術全般
- 造形機器
- 装置
- 技術(3Dプリンタ、3Dスキャナー、ラビッドプロトタイプング機器、ラビッドマニュファクチャリング機器)
- 3Dデータソリューション
- Dプリント受託サービス
- 樹脂材料
- セラミック材料
- 金属材料
- 複合・機能性材料
- 部品メーカー
- 受託加工メーカー

フェア協力団体：一般社団法人 日本AM協会

AMの実製品活用が海外と比較して大きく遅れている国内で、AM活用を拡大するために日本AM協会は活動をしています。実製品でのAM活用には、デザイン設計から、材料・製造・品質保証と製造にかかわる全ての技術が変わり、投資や時間を多く必要とします。それらの負担や不安を軽減するために、各方面に関係する企業や研究機関そして官庁の協力を得て、AM活用促進する活動内容をご紹介します。

製造業DXフェア

製造業の現場は、営業と技術の情報共有、あらゆる生産過程の効率化、スマートファクトリー化、省力・省人化、付加価値向上など多くの課題を抱えています。「製造業DXフェア」では、避けて通れないDX化への課題を抱える企業や団体に向けて、工場だけでなく事務所、オフィスなど「ヒト」がかかわる全ての生産現場の変革となるシステムやサービス、機械などの最新情報発信します。

出展対象

- 産業用ロボット
- IoTソリューション
- AI自動化/省力化機械
- 送風機、冷風機
- 乾燥機、ヒーター
- クリーンルーム恒温室
- 刻印機
- セキュリティ関連
- 監視、防犯カメラ
- 作業管理システム
- PLM/PDM、MES(製造実行システム)
- ERP(基幹資源計画)
- MRP(資材所要量計画)
- SCADA(監視制御システム)
- WMS(倉庫管理システム)
- 生産管理システム
- 機械稼働管理システム



鍛造加工技術フェア

鍛造品は、機械工業のあらゆる重要保安部品として使用され、安定した生産力、高品質、技術力で生産されなければいけません。日本の伝統である「鍛冶屋魂」をもとにこれらの条件を満たした日本の鍛造品の信頼性は高く国内外からの需要に応えています。

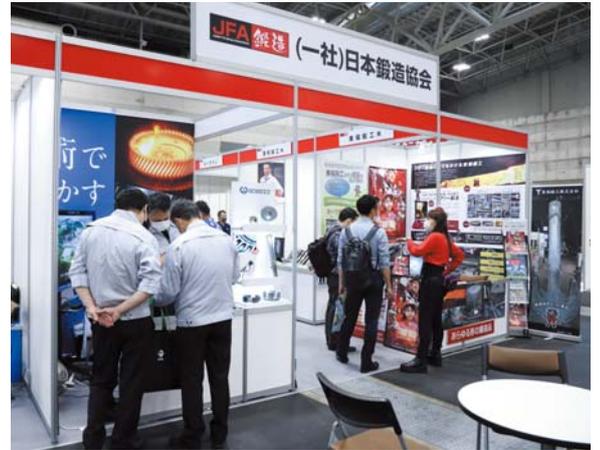
しかし、高品質を保ちながらもさらなる低コスト化、高付加価値化、軽量化に向けた技術開発など日々進化を要求されています。本フェアでは鍛造加工業界のみならず業界をサポートする設備関連業界から最新の技術、機械等の製品情報を発信し、各社が抱える問題解決と提案を行いビジネス促進につなげます。

出展対象

- 鍛造加工機 (ハンマ、冷間・温間・熱間鍛造プレス、ローリングミル、アプセッタなど)
- 周辺機器、装置 (切断機、加熱装置、検査・測定機器など)
- ロボット、自動化システム
- 金型、表面処理
- CAD、CAM、CAE
- 潤滑剤
- 各種鍛造加工品
- 成形サンプル
- 鍛造加工事業者による技術PR

フェア協力団体：一般社団法人 日本鍛造協会 

鍛造業界を取り巻く環境は、押し寄せる電動化の波、カーボンニュートラル、エネルギー問題、情勢不安、為替、労働力不足等、まさに混迷の時代の中、企業の存続をどのように考えるかが喫緊の課題となっています。このような状況下において、各社は、国内外での競争力を高めるべく、自社の保有技術とデジタル技術を融合し、軽量化をはじめ、省エネ、低コスト、高付加価値化、さらなる高品質化に向けた技術開発に取り組んでいます。



自動車部品製造技術フェア



世界の製造業をリードする日本の自動車部品製造技術を披露します。大変革を迎えている自動車業界。脱炭素社会がEV化を加速させ部品加工も統合や標準化、軽量化など、急速な技術革新が求められています。ますます激化する自動車業界の大手メーカーから1、2次サプライヤー、中小企業まで、最先端の自動車部品製造技術を紹介します。

出展対象

- 自動車部品メーカー
- 自動車部品サプライヤー
- 機能性部品製造技術
- 部品製造設備・工作機械・工作器具・工具・治具・精密測定器・試験装置・検査装置
- 高機能素材・高機能部材
- 共同受注・開発グループ
- 企業連携・産学連携グループ

フェア協力団体：一般社団法人 日本自動車部品工業会 

日本自動車部品工業会は国内約430社の自動車部品メーカーが加盟し、世界中で事業活動を展開している会員企業が抱える様々な課題に取り組んでいます。現在、自動車産業は100年に一度の変革期を迎え、CASE・MaaSといった大きな構造変化やカーボンニュートラル化への対応に迫られる中、当会では「グリーン(CN)」「デジタル(DX)」「レジリエンス」を重点施策として、事業活動を進めています。

航空機部品加工技術フェア

新素材・新素材加工技術、宇宙産業・防衛産業・防衛装備品産業、エネルギー産業へ参入する中小企業が主役。競争力を持つ特殊な技術や高付加価値技術のある中小企業と、大手メーカーやサプライヤーとのビジネスマッチングを目指し、業界の最新技術や新素材に関する情報を発信します。

出展対象

- 航空機部品メーカー
- 高機能素材、特殊素材メーカー
- 装備品メーカー
- 内装品メーカー
- 共同受注・共同開発グループ
- 企業連携・産学連携グループ



フェア協力団体：まんてんプロジェクト 

航空・宇宙分野がかかえる課題や新たに参入するために必要な情報、技術、ノウハウなどを取り上げて、会員企業が求める多様なニーズに対応する取り組みを進めています。具体的には、会員企業の得意技術を活用した航空宇宙関連部品や民生品の受注業務や航空・宇宙関連分野の動向、技術情報の課題などを取り上げた講演会、会員企業の得意技術を紹介するための展示会への出展、研究機関や企業への見学会を実施しています。



主な出展規程

1. 出展料金等の請求と支払い、返金等について

事務局が出展申込書の記載事項を確認の後、出展者に出展料金の請求書を送付します。出展者は、請求書記載の期日までに出展料金全額を事務局指定の口座へ振込むものとします(お支払いは銀行振込みのみで、手形・小切手・直接現金でのお支払いは受け付けておりません)。なお、出展料金を含め本展示会に関する全ての支払い、返金についての振込手数料は出展者が負担するものとします。

2. 出展申込みの受理、成立期日について

出展者が事務局の定める手続きを行い、その出展申込書(申込みシステムの利用、出展申込書の郵送、ファックス、eメールなど)を事務局が受領した時点で申込成立とします。ただし、出展内容が展示会趣旨にそぐわない場合や出展資格を有しないと事務局が判断した場合は出展をお断りする場合があります。

3. 出展申込の取消(キャンセル)

- (1)出展申込の取消または申込内容の変更は原則として認めませんが、やむなく出展の取消もしくは申込内容の変更(出展小間数の一部キャンセルなど)を行う場合には、その理由を明記した文書を事務局に提出し、承諾を得てください。
- (2)やむなく出展の取消もしくは申込内容の変更を行う場合には、その時期に応じて下記の出展取消料(角小間料金含む)をお支払い下さい。なお、下表は事務局が出展者からの取消・変更通知書面を受領した日を基準とします。

東京展

書面による取消・変更通知を受領した日	出展取消料
2022年11月1日～2022年12月23日	出展料金(税込)の 10%
2022年12月24日～2023年1月7日	出展料金(税込)の 50%
2023年1月8日～2023年1月31日	出展料金(税込)の 75%
2023年2月1日以降	出展料金(税込)の100%

名古屋展

書面による取消・変更通知を受領した日	出展取消料
2023年1月1日～2023年2月28日	出展料金(税込)の 10%
2023年3月1日～2023年3月15日	出展料金(税込)の 50%
2023年3月16日～2023年4月15日	出展料金(税込)の 75%
2023年4月16日以降	出展料金(税込)の100%

(3)出展者が上記相当金額を支払っていないときは、取消通知後、直ちに支払うものとし、出展者が既に支払った金額が上記相当金額を超過している場合は、超過分を事務局より返金します。この場合、振込手数料は出展者の負担とします。

(4)事務局は、次に該当する場合、出展者に対し、何らの予告無しに出展を取消することができ、また、出展料金全額をお支払いいただきます。この場合、事務局は当該場所を適切な方法で使用することができるものとします。

東京展

- ①2023年1月31日(火)までに出品料金を完納しない場合
- ②事前申告なしに搬入日の2023年4月11日12時までに小間の使用を開始しない場合
- ③出展規程および関連規程に記載の事項に違反し、事務局の催告によっても改善が認められない場合

名古屋展

- ①2023年3月31日(金)までに出品料金を完納しない場合
- ②事前申告なしに搬入日の2023年6月20日12時までに小間の使用を開始しない場合
- ③出展規程および関連規程に記載の事項に違反し、事務局の催告によっても改善が認められない場合

4. 小間位置の決定

- (1)小間の位置は、出展物の内容、申込順位、出展実績、会場全般の構成、実演の有無などを考慮して事務局が行い、後日通知します(予定)。出展者は小間の割当てについて、苦情や出展取消等を申し出ることできません。
- (2)主催者は、消防法令上または出展者の展示効果向上のために小間図面を変更し、それに伴い小間を再配置することができます。その際、出展者は小間位置変更に関する損害賠償請求はできないものとします。

5. 小間の転貸等の禁止

出展者は、割り当てられた小間の全部または一部を第三者に譲渡・貸与もしくは出展者相互において交換することはできません。

6. 共同出展者の取り扱い

2社以上の会社が共同出展をする場合は、原則として1社が代表して申し込むものとし、出展料金などの各請求をはじめとする事務局からの全ての連絡は、申込者の実務担当者へのみ通知するものとします。なお、共同出展する社名の表記は、出展者名併記の場合のみとします。

7. 出展物および展示装飾・実演に関する規制と撤去・搬出

(1)小間内の出展物および装飾物等が、後日事務局より通知される期日以内に撤去・搬出されない場合は、出展者の費用負担で、事務局により撤去・搬出できるものとします。

東京会場 開催概要

開催概要

名称	INTERMOLD 2023(第34回金型加工技術展) / 金型展2023	金属プレス加工技術展2023
会期	2023年4月12日(水)～15日(土) 4日間 10:00～17:00 ※最終日は16:00まで	
会場	東京ビッグサイト(〒135-0063 東京都江東区有明3丁目11-1)	
主催	一般社団法人日本金型工業会	一般社団法人日本金属プレス工業協会
運営	インターモールド振興会(テレビ大阪エクスプロ内)	
公式サイト	https://www.intermold.jp/	
予想来場者数	50,000人(同時開催展を含む)	
入場料	3,000円(税込) ※事前登録の上、入場証持参者は無料	
後援	経済産業省、外務省、東京都、独立行政法人日本貿易振興機構、東京商工会議所、日本経済新聞社、独立行政法人中小企業基盤整備機構(順不同 / 申請予定)	
協賛	一般社団法人日本工作機械工業会、一般社団法人日本鍛圧機械工業会、日本工作機械輸入協会、一般社団法人日本金属プレス工業協会、日本精密機械工業会、日本機械工具工業会、一般社団法人日本鍛造協会、一般社団法人日本工作機器工業会、日本精密測定機器工業会、日本光学測定機工業会、ダイヤモンド工業協会、一般社団法人型技術協会、日本プラスチック機械工業会、一般社団法人日本ダイカスト協会、一般社団法人日本塑性加工学会、一般社団法人日本機械学会、公益社団法人精密工学会、一般社団法人日本自動車部品工業会、一般社団法人日本鋳造協会、一般社団法人日本AM協会(順不同 / 申請予定)	一般社団法人日本自動車部品工業会、一般社団法人日本鍛圧機械工業会、一般社団法人日本金型工業会、一般社団法人型技術協会、一般財団法人素材センター、一般社団法人日本産業機械工業会、一般社団法人日本ダイカスト協会、一般社団法人日本金属熱処理工業会、一般社団法人日本鋳造協会、一般社団法人日本鍛造協会、一般社団法人日本バルブ工業会、日本粉末冶金工業会、一般社団法人日本塑性加工学会、一般社団法人日本機械学会、公益財団法人天田財団、公益財団法人金型技術振興財団(順不同 / 申請予定)

(2)いかなる方法でも、近隣の小間の妨げとなる小間の造作はできないものとし、近隣小間の出展者から苦情がでた場合、事務局が展示会運営上の立場から判断し、小間装飾などの変更が必要と判断した場合は、当該小間の出展者はその変更同意するものとします。この場合に発生する費用は、出展者の負担とします。

(3)事務局は展示会開催趣旨・目的などの観点から問題があると思われる出展物の展示や装飾に関して規制または撤去する権限を有するものとします。この場合、事務局は出展者に対して輸送・展示費用などの負担や出展料金などの返金について一切の責任を負わないものとします。

(4)出展者は開催期間中、各種規程を遵守しブース運営を行うこととします。また、全期間においてブース運営責任者、またはそれに準ずる者が展示ブース、各種会場にて立ち会わなければならないこととします。原則、ブースを無人で運営することはできません。

8. 出展物の管理と免責

主催者は、出展物の管理・保全について警備員を配置するなど会場全般の管理・保全にあたりますが、出展物への天災、不可抗力、盗難、紛失などあらゆる原因により生じる出展物への損失または損害についてその責任を負わないものとします。出展物、備品の管理は出展者の責任の下、万全を期して行って下さい。

9. 損害賠償

出展者は、出展者自身または出展者指定の業者などの代理人の不注意、その他の理由により、展示会場設備または展示会建造物もしくは人身などに対して与えた一切の損害について責任を負うものとします。出展者は保険へ加入するなど、十分な対策を講じて下さい。

10. 展示会開催概要の変更または開催中止について

主催者は、天災および本項に定めるその他の不可抗力により展示会の開催が著しく困難となった場合、開催概要の大幅な変更、会期・会場を変更、展示規模の縮小、または開催を中止することがあります。主催者は、この決定および実行により被る出展者に生じた損害や費用の増加、その他不利な事態に陥るなどに対する一切の責任を負わないものとします。

(1) 会期変更の取り扱いについて

出展申込みは、変更された会期等についても有効とし、変更などを理由として出展を取消すことはできません。

(2) 出展料金の返金について

主催者が展示会開催を事前または会期中に中止した時は、既納出展料金から下記に定める金額を返金します。その際、銀行振込手数料は出展者の負担とします。また、主催者が会期変更(延期)を行った場合は、既納出展料金の返金が行わないものとします。

会期変更を行った際は、その変更した開催日程に応じた出展料金の返金規程を、主催者および事務局が設定するものとします。

中止による既納出展料金の返金割合

東京展	
2022年12月31日まで	出展料金(税込)の全額返金
2023年1月1日~2023年1月31日	出展料金(税込)の65%返金
2023年2月1日~2023年2月28日	出展料金(税込)の50%返金
2023年3月1日~2023年3月31日	出展料金(税込)の35%返金
2023年4月1日~2023年4月8日	出展料金(税込)の25%返金
2023年4月9日以降	出展料金の返金はいりません。

名古屋展	
2023年2月28日まで	出展料金(税込)の全額返金
2023年3月1日~2023年3月31日	出展料金(税込)の65%返金
2023年4月1日~2023年4月30日	出展料金(税込)の50%返金
2023年5月1日~2023年5月31日	出展料金(税込)の35%返金
2023年6月1日~2023年6月17日	出展料金(税込)の25%返金
2023年6月18日以降	出展料金の返金はいりません。

(3) 不可抗力について

戦争、暴動、反乱、内乱、テロ、火災、爆発、洪水、盗難、害意による損害、ストライキ、立入制限、天候、第三者による差止行為、国防、公衆衛生に関わる緊急事態、国または地方公共団体の行為または規制など、主催者のコントロールの及ばないあらゆる原因をいいます。

11. 日本国内への入国手続き

出展者が、本展示会への出展のため日本国内への入国手続きを必要とする場合、出展者は自己の責任において日本国内への入国手続きを行うものとし、入国審査に関わる全ての手続きならびに経費に対しては、主催者は一切の責任を負わないものとします。また、何らかの理由によりわが国に入国できないために出展申込みを取り消す場合には、出展者は主催者に対し、「3.出展申込みの取消(キャンセル)」に定める規程によりキャンセル料を支払うものとします。

12. 規程の遵守

出展者は本出展規程をはじめとする主催者が定める諸規程を遵守することに同意のうえ出展申込みをするものとし、この点において将来いかなる時点においても一切の異議を申し立てないこととします。出展者は主催者が定める全ての規程を本展および出展者の利益保護のためのものと解釈し、その実行に協力するものとします。

名古屋会場 開催概要

開催概要

名称	INTERMOLD 名古屋 / 金型展 名古屋	金属プレス加工技術展 名古屋
会期	2023年6月21日(水)~23日(金) 3日間 10:00~17:00	
会場	ポートメッセなごや(〒455-0848 名古屋市港区金城ふ頭2-2)	
主催	一般社団法人日本金型工業会	一般社団法人日本金属プレス工業協会
運営	インターモールド振興会(テレビ大阪エクスプロ内)	
公式サイト	https://www.intermold.jp/	
予想来場者数	50,000人(同時開催展を含む)	
入場料	3,000円(税込) ※事前登録の上、入場証持参者は無料	
後援	経済産業省、外務省、愛知県、名古屋市、独立行政法人日本貿易振興機構、名古屋商工会議所、日本経済新聞社名古屋支社、独立行政法人中小企業基盤整備機構(順不同/申請予定)	
協賛	一般社団法人日本工作機械工業会、一般社団法人日本鍛圧機械工業会、日本工作機械輸入協会、一般社団法人日本金属プレス工業協会、日本精密機械工業会、日本機械工具工業会、一般社団法人日本鍛造協会、一般社団法人日本工作機器工業会、日本精密測定機器工業会、日本光学測定機工業会、ダイヤモンド工業協会、一般社団法人型技術協会、日本プラスチック機械工業会、一般社団法人日本ダイカスト協会、一般社団法人日本塑性加工学会、一般社団法人日本機械学会、公益社団法人精密工学会、一般社団法人日本自動車部品工業会、一般社団法人日本鋳造協会、一般社団法人日本AM協会(順不同/申請予定)	一般社団法人日本自動車部品工業会、一般社団法人日本鍛圧機械工業会、一般社団法人日本金型工業会、一般社団法人型技術協会、一般社団法人素形材センター、一般社団法人日本産業機械工業会、一般社団法人日本ダイカスト協会、一般社団法人日本金属熱処理工業会、一般社団法人日本鋳造協会、一般社団法人日本鍛造協会、一般社団法人日本バルブ工業会、日本粉末冶金工業会、一般社団法人日本塑性加工学会、一般社団法人日本機械学会、公益財団法人天田財団、公益財団法人金型技術振興財団(順不同/申請予定)

出展料金 / 申込方法

出展料金

種別	Aタイプ	Bタイプ
正会員	341,000円(税込)	434,500円(税込)
賛助会員	363,000円(税込)	456,500円(税込)
※正会員・賛助会員価格は主催団体の会員のみ適用		
一般	418,000円(税込)	511,500円(税込)
※一般出展者には、早期申込割引制度があります。		

角小間指定料

66,000円(税込) (1・2小間の申込者のみ対象)

小間仕様

サイズ / 間口(W)約3m×奥行(D)約3m×高さ(H)2.7m(約9m²)

※Bタイプ:内寸法 間口2.93m×奥行2.93m

単列または複列を選択(複列は4小間以上の出展に限ります)

小間設備内容

1. Aタイプ(スペースのみ)

小間仕切りのパネルなどは一切装備されません。

2. Bタイプ(基本装備・設備付き)

ユニット・システムブースによる基本装備に電気設備と備品が装備されます。



Bタイプ設備内容(1小間あたり)

- 後壁(バック)、側壁(間仕切り)、パラペット、カーペット
- 社名文字(青色/角ゴシック体/15文字以内)
- 受付カウンター(1台)
- パイプイス(1脚)
- スポットライト(2灯)
- 蛍光灯(2灯)
- コンセント(300W/1個)
- 上記電気設備に関する幹線工事費用

Bタイプ
参考例

※Bタイプに含まれる1kWまでの電気使用料を含んでいます。

※社名板、受付カウンター、パイプイスは小間数にかかわらず1台(脚)のみ装備されます。

※角小間の場合は通路に面する側壁は設置されません。

東京展

早期申込割引

申込受付開始～10/31までの申し込みで、出展料金を **10% OFF** します

※一般出展者のみ対象。正会員・賛助会員価格には適用されません。

名古屋展

早期申込割引

申込受付開始～12/31までの申し込みで、出展料金を **10% OFF** します

※一般出展者のみ対象。正会員・賛助会員価格には適用されません。

申込方法

1 下記「出展申込みサイト」より出展規程をご了承の上、お申込みください。

➡ <https://www.intermold.jp/application/>

なお、初めて出展する場合は、会社案内および出展製品のカタログを必ず提出してください。

出展申込みは、インターネットを通しての申込みとなります。

インターネット環境をお持ちでない場合は、事務局までお問い合わせください。

(重要) 重量物展示、および展示内容制限に関して

重量物を展示予定の場合は、申込の際に必ず「予定あり」とチェックをして下さい。また、展示会場での「危険物品の持ち込み数量制限」により、加工油剤(切削・放電など)などを含む危険物・可燃性固体・液体類の展示、放電加工機または工作機械内蔵油の展示などに制限が設けられる場合がございます。出展を予定される場合は必ずこちらのチェックをお願いいたします。

2 出展申込みサイトで主な出展規程を確認いただけますので、内容を確認・ご承諾のうえ、お申し込みください。また、出展申込書を郵送される場合は、必ず控えを出展者にて保管してください。

3 出展内容が本展開催趣旨・目的に沿わない場合は、出展受付を保留またはお断りすることがありますのでご了承ください。詳細は事務局までお問い合わせください。

4 出展申込数は1小間を単位とします。2小間以上の小間を申し込みの場合、AタイプとBタイプを混在して申し込むことはできません。

5 申込出展者以外に共同出展する企業を表記する場合は、出展申込の際、出展者名を「/」でつないで登録してください。別途登録はできません。(出展者名の変更は後日可能)

申込締切日

東京展 **2022年12月23日(金)**

※ただし、満小間になり次第締切となります。

名古屋展 **2023年2月28日(火)**

支払期日

請求書発行日の翌月末

- 出展申込手続き完了後、事務局が受理し、請求書を発行いたします。
- 請求書に記載の期日までに、出展料金をお振込みいただけます。
- 出展申込手続き完了後、事務局受理日以降の出展申込の取消は出来ません。

お問い合わせ

インターモールド振興会

〒540-0008 大阪市中央区大手前1-2-15 (株)テレビ大阪エクスプロ内
TEL : 06-6944-9911 FAX : 06-6944-9912 E-mail : infoim2023@tvcoe.co.jp